

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	事業所名	あすならホーム高田 看護小規模多機能型居宅介護
所在地	(〒 653-0062) 奈良県大和高田市磯野南 5-15		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・退院直後の受け入れから在宅想定をしたケアを行っている。
- ・通い、訪問(看護・介護)、泊まりを柔軟に組み合わせることで家族のレスパイトだけでなく在宅での生活を支えることができる。
- ・在宅、または連泊での看取りを行い、最期まで寄り添い、その「人」らしいケアを行っている。
- ・看護師配置をしていることで、医療面の相談や困りごとに対応でき、安心を提供している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 12 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人 ※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	---------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 2 月 14 日	出席人数(合計)	(10) 人 ※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	☐ 自事業所職員 (7) 人 ☐ 市町村職員 (0) 人 ☐ 地域包括支援センター職員 (0) 人 ☐ 地域住民の代表者 (0) 人 ☐ 利用者 (1) 人 ☐ 利用者の家族 (2) 人 ☐ 知見を有する者 (0) 人 ☐ その他 (0) 人		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		①ケアプランに対して定期的にアセスメントできるように、アセスメント力の向上を目指す。 ②年間の育成計画の作成を行い、職員のスキルアップを目指す。 ③個別学習計画の周知を行い、職員と共有する。	①各利用者の担当を作りアセスメントをしていた。 ②職員育成計画を年間で作成した。 ③毎月の業務改善会議の資料に記載していく。	①個々のアセスメント力は十分とは言えないが、経験の中で指導・育成を目指している。 ②次年度も計画を立てて振り返りも含めて指導していく。 ③業務改善資料については、都度、共有ツールを使って周知、共有していく。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	①医療依存度の高い利用者の受け入れを行い、その特性に応じたサービスの提供が出来るよう前向きな取り組みの構築。 ②喀痰吸引の資格取得を目指す。	①特別管理加算が必要な方などの受け入れを積極的にを行いケアを行った。 ②事業所登録を行い計画を進めている。	①医療依存度の高い方が増えるとともにターミナルの方も増えた。今後は、医療と長く付き合える方も対象としていく。 ②研修は順調に進めているが、利用者の負担もありスピードは遅い。利用者の負担にならないように進めていく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	①看護、介護だけでなくケアマネや栄養士なども含めての話し合いの場を作る。 ②他医療機関や他事業所との日ごろからの交流も含め、有事には連携出来るように努める。	①ケア会議や必要時など多職種での話し合いの場を持った。 ②病院や他事業所からの急な受け入れも対応し、フィードバックを行った。	①話し合いの場は持ったがまだ不十分である。内容の精査とともに理解を深めていく。 ②病院や他事業所からの依頼が増えている。引き続きフィードバックを行っていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	①地域との関りを深めるためサロン活動への積極的な参加を行う。また、利用者の困りごとに対して地域や行政への投げ掛けを行う。 ②喀痰吸引の資格取得を行い、医療依存度の高い方にも安心を届ける。	①毎月のサロンへ職員の参加をし、繋がり連絡員制度を用いて地域の方との関係性を作っている。 ②現在、喀痰吸引の資格取得のため研修中。	①サロン活動は定着しつつある。繋がり連絡員制度の中の関係性作りは、まだまだ改善の余地あり。 ②喀痰吸引研修のスケジュール終了したが、まだ1人であるため続けての研修が必要であるが、対象利用者の負担も考慮が必要。

Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	①看取りの積極的な受け入れを行い、最期まで、その人らしさを大切にするケアを行う。 ②アセスメント力の強化を行い、利用者それぞれの目標達成にむけたケアの取り組みを行う。	①8月から毎月看取りの方の受け入れを行っている。 ②職員もケアプランを見て理解していくようにしている。	①毎月、看取りの対応があり、全員が看取りケアの経験することができている。1人1人看取りには違いがあるが、都度、家族や本人の状態に合わせてケアしていく重要性を理解できてきた。 ②より良いケアのためには、利用者を知ることが大切になってくる。その大切さを理解できれば、行動に表れてくるため根拠の理解を指導していく。
---------------------------------	---	---	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・職員一人一人が看多機のサービスを理解したうえで、ケアの提供を行う必要がある。 ・職員個々に育成計画を立て研修などの内外の学習の機会を持つことが必要。	・在宅視点でのケアの提供のためのアセスメント力の強化を目指す。 ・年間の育成計画の作成を行い振り返りを行う。 ・個別学習計画の周知を行い、職員と共有する。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・泊まりの支援は、家族の負担軽減につながる。 利用を促すタイミングが大事である。 ・医療に特化した方の受け入れが多くあり、看護師の配置が重要となった。	・医療依存度の高い利用者の受け入れは継続して行い、その疾患に応じた医療ケアだけでなく、生活の視点を取り入れたサービスの提供が出来るよう前向きな取り組みの構築。 ・喀痰吸引の資格取得を目指し、指定事業所の取得を目指す。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・多職種での連携が必須であり。情報共有の工夫が必要。 ・主治医との連絡を密に行う必要性の理解が必要。 ・有事には、他事業所と連携できるような関係性づくりが重要、	・看護、介護だけでなくケアマネや栄養士なども含めての話し合いの場を作る。 ・他医療機関や他事業所との日ごろからの交流も含め、有事には連携出来るように努める。

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	・地域の方との関係性の構築が必要。 ・喀痰吸引の指定事業所の許可をとることが課題となる。	・地域との関りを深めるためサロン活動への積極的な参加を行う。 - また、利用者の困りごとに対して地域や行政への投げ掛けを行う。 - 喀痰吸引の資格取得を行い、医療依存度の高い方にも安心を届ける。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・最期を安心して迎えられる看取りの評価が高いのは良い。 ・日常から多職種で話し合える環境にあることが高評価となる。	・看取りの受け入れを行い、最期まで、その人らしさを大切にケアを行う。 - 多職種でのアセスメント力の強化を行い、利用者それぞれの目標達成にむけたケアの取り組みを行う。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表「事業所自己評価・運営推進会議における評価」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	10	3	0	・あすならサロンでの情報提供がある。 ・連絡、確認、情報共有の徹底はお願いしたい。 ・利用者や家族からの感謝の言葉は職員にとってモチベーションアップに繋がり良い傾向です。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・食事に関して嚥下状態、嚥下訓練の試み、生活リハビリの継続。 ・スタッフ間の連絡・確認がまだ上手くできていない。日々、確認をとれるように取り組みをする。 ・医療ニーズの高い利用者の受け入れから看取りまで行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・家族様から「ここで良かった」とのお言葉を頂け ている。					
2	○ サービスの特徴および事業 所の理念等について、職員が その内容を理解し、実践して いる	1	1 2	2	0	・職員間の連携・お互いの業 務を補い合っていること、継 続できるようにお願いしま す。	✓ 「サービスの特徴および理念等を 踏まえた実践」の充足度を評価し ます ✓ 独自の理念等が明確化されていな い場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・フロアでの食事、トイレ誘導、独居の方の 支援など。 ・職員間で連携をとり進めている。 ・自宅で少しでも自立できるように支援して いる。 ・医療目線でなく、在宅目線の医療ケアに取り 組んでいく方向性を目指している。 ・生活リハビリを行っている。 看護師、介護士がお互いの業務を補いあっ ている。					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な育 成計画などを作成している	0	7	7	1	育成計画、日々の調整は難し いと思いますが少しずつで も進めていって下さい。	✓ 「育成計画の作成」の状況につい て、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画な どを作成している場合は「よくで きている」 ✓ 育成計画などを作成していない場 合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・育成計画の話をされたことがない。 ・話し合いの内容が継続されていない。 ・月間スケジュールや、講習への参加な ど早めに調整出来ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・出来ていないところの見直しや出来て いるところを褒め合っている。 ・育成計画まではいかないが、個々の職 員に応じて面談を行っている。 ・意見交換や勉強会を聞く時間がない。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機 会を育成計画等に基づいて 確保するなど、職員の専門技 術の向上のための日常業務 以外での機会を確保してい る	2	8	3	2	研修の参加案内はあるとの ことなので、参加していって もらえるようお願いした い。	✓ 「専門技術の向上のための日常業 務以外での機会の確保」について、 充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・研修の参加をしていない。 ・日々のスケジュール調整の中で連携が 出来ている。 ・実務者研修等の参加。 ・もう少し業務内容の見直しが必要。 ・その人に合った研修を案内してくれて いる。 ・研修は多いが専門性を問われると少な いように思う。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専 門員の間で、職員が相互に情 報を共有する機会が、確保さ れている	2	1 2	1	0	・報告、情報共有、申し送り、 ケア会議、月 1 回の会議での 意見交換は、今後も継続お願 いします。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度 を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケー スについて話し合うための、定期 的なカンファレンスの開催」など が考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・問題点や気になったことはサブリーダ ーに声掛けしている。 ・現場でその都度、出来ている事の確認 や失敗した事などを報告し共有してい る。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・ケア会議の実施、日々の情報共有。 ・共有ツールや申し送りできている。 ・研修や会議での交流。 ・必要時のケア会議や月1回の会議で意見交換している。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	5	9	1	・行政やご家族の参加が少ないときもありますが、出席の際には利用して良かったことや、ホームへのお願い事なども話されている。 ・行政からも頼りにされていて良好な良い関係性ができている。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		【具体的な状況・取組内容】 ・運営推進会議で話し合われたことが十分に共有されていないと思います。 ・会議で決められた事の理由が分かりにくい ・具体的な、内容が理解出来ていない。 ・自立支援 ・行政からの具体的な意見があまりなく、家族の参加も少ない。 ・運営推進会で決まったことだけが反映され、要望が取り入れられているかどうか不明					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できて ない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	1	9	5	1	・介護職の人材不足。勤務に追われるなど健康面、精神面が心配ですが、上司に相談できる環境が整えられていることは安心です。 ・人材確保は今後も課題です。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
④ 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	11	0	0	・情報共有アプリは良い。 ・利用者の入れ替わりが多いと大変ではあるが、丁寧な対応をお願いします。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	9	5	0	・常に注意をして行動することの重要性を感じます。 ・再発防止の報告・共有 具体策はあるが、それを認識できていないため、再度の通達で共有が必要。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	5	7	0	・防火訓練の写真、議事録に気づきが多くあった。 ・全員が訓練に参加できる工夫が必要。 ・心肺蘇生法と AFD の訓練も定期的に必要。 ・非常用トイレの工夫は良かったので継続してもらいたい。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営 推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を含 む、利用者等の 24 時間の暮 らし全体に着目したアセ スメントが行われている	1	14	0	0	・緊急ショートの受け入れは 今後も積極的に対応してい てほしい。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮 らし全体に着目したアセスメント」 の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小 規模多機能型居宅介護において は、家族等も含めた 24 時間の暮 らし全体に着目したアセスメント が必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれ の視点から実施したアセス メントの結果が、両職種の間 で共有されている	2	9	4	0	・介護、看護の両面からの共 有の継続を望む。	✓ 「介護職と看護職間でのアセス メント結果の共有」について、充足 度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたア セスメントの結果は、その後のつ き合わせなどを通じて、両職種で 共有されることが望ましいといえ ます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	1 3	1	0		✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・ケア会議にて。 ・サービス担当者会議で確認している					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	1 1	3	0		✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・生活リハビリ。 ・あすなら10の基本ケアへの取り組み					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	0	1 0	5	0	・状況変化の予測やリスク管理についての積極的な意見交換を望む。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・今後歩けなくなったら等すりや車椅子の提案。 ・介護士・看護師間での意見交換がやや少ないように思う					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	1	1 3	1	0		✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・現場からの情報をもとにモニタリングを行い計画にも反映するように努めている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	1 2	2	0		✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・本当に必要な訪問、泊まりのみにしている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	1 2	2	0		✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医との情報連携、」また入退院時には病院との情報連携を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	1	10	4	0		✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・バイタルや送迎の役割 ・お互いの業務内容や意味などの理解が 足りない部分もあり十分とは言えない。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	4	8	3	0		✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・申し送りにて。 ・日頃から話し合いをしている ・ケアの際に何かあれば、お互いに相談し合っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている	2	9	4	0		✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割の 1つとして期待されます
[具体的な状況・取組内容] ・申し送りにて。 ・介護職からの疑問に対して回答してもら えている。							
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説 明し、利用者等の理解を得て いる	1	9	4	1	・「10 の基本ケア」は協同福 祉会として大切にしている ことの1つであるため、今後 も理解をして頂ける働きか たの継続をお願いしたい。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・10 の基本ケア ・契約時に家族や本人にサービス説明や 10 の基本ケアの説明をしっかり行い、理 解いただいている。							
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等について、 分かりやすく説明し、利用者 等の理解を得ている	3	9	3	0		✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・サービス担当者会議にて説明を行い同 意のうえサインして頂いている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	10	3	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	4	9	2	0		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	2	9	4	0		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	3	6	6	0		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	3	10	2	0		✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	1	8	6	0		✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・申し送りにて。 ・ターミナル意向書面において確認はしているが、状況が変わった時に随時確認することはできていない ・契約時に意向伺いはしているが、家族により聞き取りできていない方もいる					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	1	7	7	0		✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・オンコール ・夜間の連絡体制が整っている ・比較的医師との連携がとれていると思う					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	5	10	0	0	・運営推進会議にてあすなろ学習会等の資料や講演会等の情報提供できている。 ・看取りの経験や利用者への対応の報告等できている。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	7	5	0		✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	9	4	0		✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	1	4	8	2		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要 介護者を受け入れることが できる体制が整っており、積 極的に受け入れている	2	5	7	1		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ これからの取り組み方次第 ・ 吸引器の配置 ・ 夜間の喀痰吸引のできる職員がいない ・ 家族の協力がある場合は受け入れしやすい ・ 今後体制を改善していく予定あり					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	0	2	4	9		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ 看護職員の経験不足で不安が大きい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	8	7	0	0	・看取りが続くことも大変であ るが、ニーズに応じていく必要 がある。	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシステ ムの構築方針や計画の内容 等について理解している	0	7	7	1		✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解すること が必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針 や計画などがない場合は、「全くで きていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアにつ いて、特定の集合住宅等に限 定せず、地域に対して積極的 にサービスを提供している	4	8	3	0	・利用者も増え、積極的にで きている。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しな い、地域への積極的な展開」につ いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、 特定の集合住宅等に限定すること なく、地域全体の在宅療養を支え る核として機能していくことが期 待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象とし ている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている	0	4	9	2	・サロン活動、ランチ企画、 オレンジカフェ、買い物支援 等、積極的に地域の方への発 信ができています。 ・苦情・ヒヤリハット等の介 護事故報告は改善策も明記 されている。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取 組」について、その充足度を評価 します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやインフ ォーマルサービスの開発・活用等、 利用者等のみでなく地域における 課題や改善策を関係者に対して提 案していくなどの役割も期待され ます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	<u>0</u>	<u>5</u>	<u>9</u>	<u>1</u>	・春と秋に学習会、毎月 15 日のミニ学習会や医療福祉生協とコラボした学習会の実施等が行われている。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 1. 2人 2. 9人 3. 4人 4. 該当なし		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> <u>1. 2人</u> <u>2. 11人</u> <u>3. 4人</u> 4. 該当なし		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 1. 4人 2. 10人 3. 1人 4. 5. 該当なし		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」